

地域プロジェクト演習

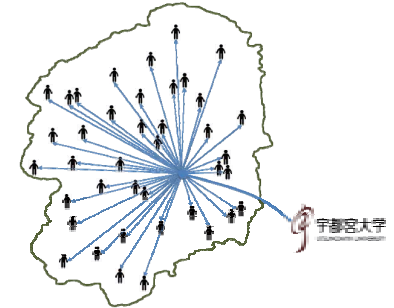


平成28年度11月8日版

地域デザイン科学部では、地域の将来を担う人材の育成を目指し、さまざまな教育プログラムを設置。

なかでも「地域プロジェクト演習」は、3年次の学生を対象とした共通専門科目で、1・2年次で受けてきた共通専門科目の集大成として大学と地域が一緒になって取組まれる授業。

※「共通専門科目」とは、地域デザイン科学部に含まれる3学科（コミュニティデザイン学科、建築都市デザイン学科、社会基盤デザイン学科）の学生全員が、各学科の専門性に加え、共通の専門的知識を身につけるための科目。

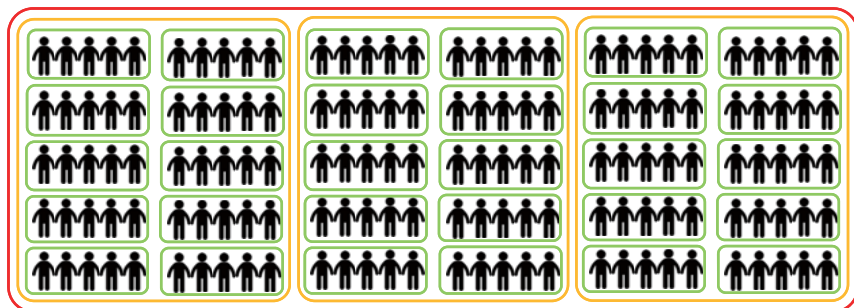
宇都宮大学
YTSUJI UNIVERSITY

- ① 学科混成グループに分かれて、これまでに修得した学部の共通専門科目や各学科の専門科目の内容を総合して、地域における実問題を扱った問題解決型の演習を行う。
- ② 具体的には、宇都宮市を中心とした栃木県内の自治体などを対象とし、自らの力で地域探索やヒアリング、各種調査を実施し、収集したデータを分析し問題の原因の特定や、それに対する解決策を提案する能力を身につける。

- ③ 本演習では、地域対応力に必要な
 - A) 適切な調査設計や調査分析を行う能力
 - B) 地域探索において自主的に行動し、具体的な解決策を提案する能力
 - C) グループ単位の口頭発表会において資料を作成し、プレゼンテーションを行う能力
 を実践を通して身につけることを目標とする。

授業は以下に示す構成単位が異なる3つの形式にて行う。

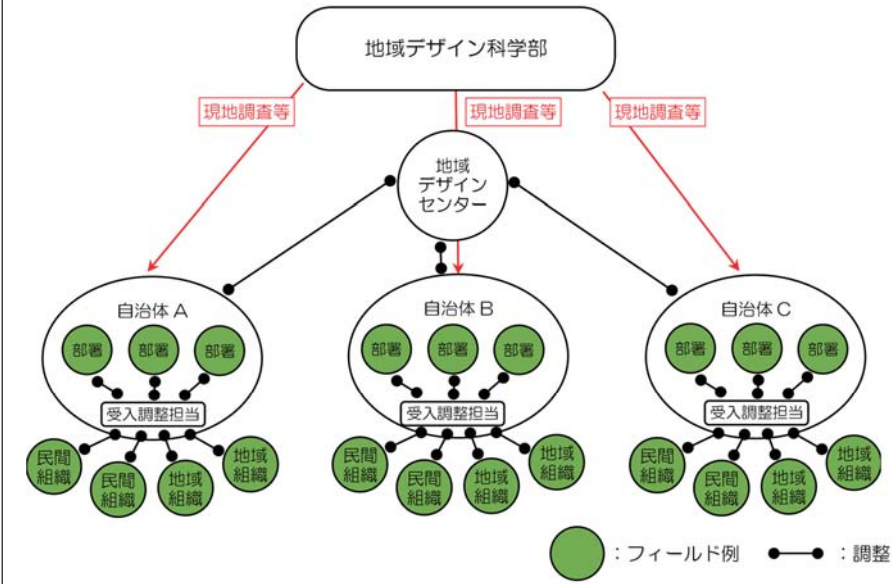
- 1) **グループ** (5人) …3学科混成
- 2) **クラス** (8~10グループ、40~50人)
- 3) **全体** (全グループ、約140人)



時期	回数	授業の流れ	実施形態
前 期			
4月	1	ガイダンス・グループ編成発表	全体
4月	2	地域説明・フィールド希望聴取	全体
5月	3	フィールド決定・ワーク	全体
5月	4	情報収集・調査設計	クラス
5月	5	情報収集・調査設計	グループ
5月	6	情報収集・調査設計	グループ
6月	7	調査設計	クラス
6月	8	調査設計	クラス
6月	9	★合同発表会1 (調査設計)	全体 (関係者公開)
6月	10	★合同発表会1 (調査設計)	全体 (関係者公開)
7月	11	現地調査等	グループ
7月	12	現地調査等	グループ
7月	13	現地調査等	グループ
7月	14	現地調査等	グループ
8月	15	グループ個別指導	クラス

時期	回数	授業の流れ	実施形態
夏休み			
8月		現地調査等	グループ
9月		現地調査等	グループ

時期	回数	授業の流れ	実施形態
後 期			
10月	1	ガイダンス (中間・最終発表)	全体
10月	2	発表会準備・追加調査等	クラス
10月	3	発表会準備・追加調査等	クラス
10月	4	発表会準備・追加調査等	クラス
11月	5	★合同発表会2 (中間発表)	全体 (関係者公開)
11月	6	★合同発表会2 (中間発表)	全体 (関係者公開)
11月	7	発表会準備・追加調査等	グループ
11月	8	発表会準備・追加調査等	グループ
12月	9	発表会準備・追加調査等	グループ
12月	10	発表会準備・追加調査等	グループ
12月	11	発表会準備	クラス
1月	12	発表会準備	クラス
1月	13	★合同発表会3 (最終報告)	全体 (関係者公開)
1月	14	★合同発表会3 (最終報告)	全体 (関係者公開)
2月	15	☆報告会@RDCシンポジウム	全体 (一般公開)



- ① 地域プロジェクト演習をサポートするためのチーム（RDC内）にて、当該授業の進め方（案）を定め、必要な準備を行う。
- ② 自治体との意見交換・調整を行う。

- ③ 授業を実施するにあたってのマニュアルとなる「受入の手引き」と「指導の手引き」を作成する。

(注) 「受入の手引き」は受け入れ先となる自治体向けのマニュアル
 「指導の手引き」は宇都宮大学の教員用のマニュアル



- ～H28.12 : 「受入の手引き (案)」の作成
 「指導の手引き (案)」の作成
- ～H29.3 : 自治体等との事前打ち合わせ
- ～H29.3 : 授業内容及び授業の進め方の詳細検討
- ～H29.3 : 「受入の手引き」「指導の手引き」の確定
- H29.4～H29.8 : 自治体等との協議
- H29.9頃 : 自治体等の確定
- H29.10～H29.12 : フィールドの選定
- H29.4～H29.10 : 教材の準備等